

第 25 期日本学術会議 第 1 回健康・スポーツ科学分科会議事録

日時：2020 年 12 月 7 日 10 時～12 時

場所：Zoom による Web 会議

出席者：山口先生、家光先生、小熊先生、荻田先生、神崎先生、川上先生、佐々木先生、定本先生、寒川先生、福林先生、來田先生、柏野先生（オブザーバー）、

宮地（議事録作成者）

欠席者：田畑先生

審議事項

報告事項

- 1) 第 24 期日本学術会議、健康・生活科学委員会ならびに健康・スポーツ科学分科会のこれまでの活動の説明（資料 1-1、1-2）
 - 世話人の宮地委員より、説明があった。

- 2) 越智光夫第二部会員の分科会委員の辞退と柏野牧夫連携会員の参加について(資料 2)

- 越智第二部会員の分科会参加辞退と、柏野連携会員の委員就任が確認された。

12月期の幹事会に新しい名簿を提出し、承認して頂く。

3) 委員長の選任ならびに副委員長・幹事の指名

- 互選により、委員長に宮地委員が選出され、新委員長により、副委員長に來田委員、幹事に山口委員、神崎委員が指名された。

4) 第24期から持ち越した提言の表出計画について（資料3）

- 第25期において継続的に審議し、1年以内の表出を目指して準備することとなった。
- 障がい者のスポーツに関して、外部の陶山先生に執筆の協力依頼をし、家光委員で執筆対応することとなった。

5) 第25期に健康・スポーツ科学分科会が取り組む活動について

自由討論を行い、以下の意見が出された。

- スポーツ庁からの審議依頼に対する回答を、十分な時間をかけて審議し表出した表出したが、マスコミの取り上げも少なく、一般に伝わっていない。

- 国民に健康・スポーツ科学の内容や意義を認知していただくため、インパクトを残すような活動が必要である。
- スポーツ庁、文科省、厚労省といった省庁や WHO や IOC などの国際機関の健康・スポーツに関する施策や情報発信を把握・共有することとした。また、積極的な連携活動が必要である。
- 新型コロナウイルス感染症蔓延下におけるスポーツ・体育・身体活動の実施のあり方に関して、子どもの健全な発育・発達、身体活動不足に伴う様々な二次健康被害の予防などの多面的な観点から、エビデンスに基づいた情報発信が必要ではないか。
- 健康・スポーツ科学分科会は、情報学の分野とも連携してことが必要ではないか。

6) 特任連携会員の指名について

- 会員、連携会員以外に本分科会の運営上必要な人材があれば、推薦して頂くこととした。また、会員、連携会員の中で、分科会の運営上、必要と認める方がいれば推薦して頂くこととした。

7) その他

- 5) で一括して議論した。